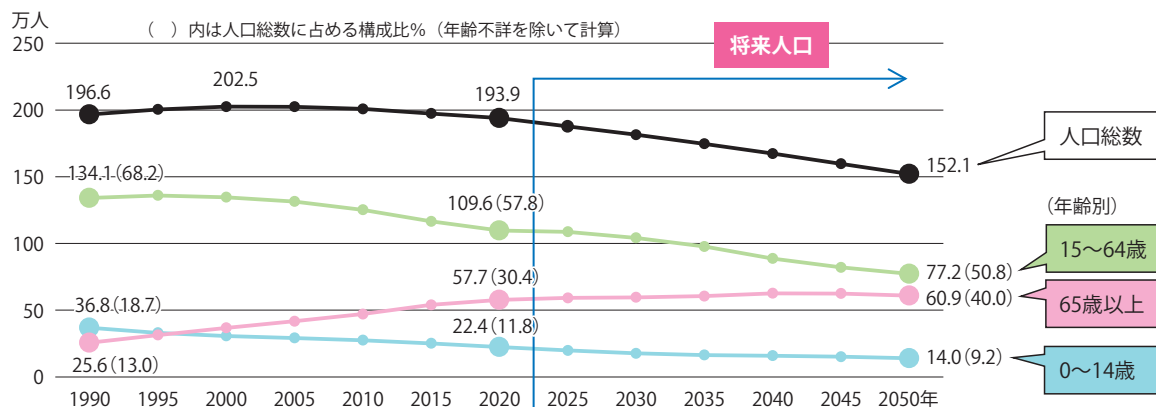


減少し続ける群馬の「将来人口」

～2050年は152万人となる!～

- 群馬の人口は、2000年をピークに減少し続けている（図表1）。将来についても、この傾向が続き、2050年時点で約152万人と、20年と比べて42万人減少すると予測されている。年齢別でみると、少子高齢化が進み、65歳以上の人口割合は40.0%まで上昇する。
- 市町村別にみると、他地域からの人口流入が見込まれる吉岡町以外は、南牧村、神流町、下仁田町をはじめ、すべての市町村で減少する（図表2）。市部では、桐生市の減少率が最も大きい。また、年齢別では、人口減少率が高い市町村で、65歳以上の人口割合が高くなる傾向がみられる。
- このため、県内経済に及ぼす影響としては、①人口減少による需要縮小、②少子高齢化による需要の質的变化、③15～64歳人口の減少に伴う働き手の減少、が進むと予想される。企業にとっては、人口規模や年齢構成にあわせたビジネスの展開、機械化やデジタル技術の活用などによる供給体制の見直しが必要になると考えられる。

図表1 群馬の人口



図表2 県内市町村の人口（減少率が大きい順）

	2020年 (人)	2050年 (人)	増減率 (%)	2050年の年齢別人口（構成比）		
				0～14歳 (%)	15～64歳 (%)	65歳以上 (%)
1 南牧村	1,611	406	▲74.8	1.7	26.1	72.2
2 神流町	1,645	498	▲69.7	2.8	33.1	64.1
3 下仁田町	6,576	2,268	▲65.5	3.3	29.0	67.8
4 片品村	3,993	1,779	▲55.4	5.3	35.0	59.8
5 みなかみ町	17,195	8,049	▲53.2	6.2	39.2	54.6
6 東吾妻町	12,728	6,009	▲52.8	4.6	39.2	56.2
7 上野村	1,128	589	▲47.8	9.8	49.9	40.2
8 長野原町	5,095	2,681	▲47.4	4.6	41.3	54.1
9 中之条町	15,386	8,347	▲45.7	5.8	41.3	53.0
10 草津町	6,049	3,386	▲44.0	5.2	47.6	47.2
11 嬬恋村	8,850	4,968	▲43.9	7.9	41.3	50.7
12 桐生市	106,445	59,785	▲43.8	6.8	42.9	50.3
(中略)						
31 榛東村	14,216	12,270	▲13.7	11.6	51.8	36.6
32 高崎市	372,973	330,734	▲11.3	10.0	52.5	37.5
33 太田市	223,014	200,120	▲10.3	10.8	54.5	34.7
34 伊勢崎市	211,850	190,997	▲9.8	9.9	54.2	35.8
35 吉岡町	21,792	22,164	▲1.7	12.3	54.5	33.2

【一口メモ】

1990～2020年のデータは、総務省「国勢調査」による実績値、2025～2050年のデータは、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」による推計値である。

人口問題研究所では、平均寿命、出生率、地域間の転入・転出等を基に、全国市区町村の将来人口を推計している。

(担当：河村英輝)